

芸人の出演番組分析

中元 雄幸

今も昔もなるべく流行にのり遅れたくないと思う人は多い。特に最近ではテレビの出演者の入れ替わりが激しい。そんな中、次に売れるタレントがわかるといいのではないかと考えた。そこで、出演番組に着目した。芸人が売れる直前に、何か共通する番組に出演しているのではないかと考え、その番組を見つけることで次に売れるタレントを発見しやすくなるのではないかと考えた。本研究では、タレントの中でも今やテレビには欠かせない存在となった芸人に着目した。

本研究の目的は、複数の芸人のそれぞれの年ごとの出演番組数の比較から、出演番組数が急増している年を見つけ、出演番組数が急増する直前に複数の芸人が共通して出演している番組を見つけることである。出演番組数が急増した年の最初のころ、あるいは、その年の前年にでた出演番組に何か出演番組数が急激に増えた原因となる番組があるのではないかと考えた。

30組の芸人（漫才、コント、ピン芸人それぞれ10組）を対象とし、2000年から2011年の出演番組のデータを集め、年ごとの出演番組数を比較した。対象とした30人の芸人それぞれの前年と比較して100以上出演番組数が増えた年の上半期とその年の前年の出演番組を集計し、共通するものがないか探した。また、漫才、コント、ピン芸人についてもそれぞれ共通するものがないか探した。

結果として、全体では20組以上が共通して出ている番組が2番組、10～19組以上が共通して出ている番組が18番組見つかった。この20番組のうち約半数は現在も続いている番組だった。また、漫才、コント、ピン芸人についてみていくと5組以上が共通して出ている番組は、漫才では17番組、コントでは17番組、ピンでは5番組見つかった。

この結果から、実際に共通する番組が要因になったかはこの結果だけではわからないが出演番組数が伸びる早い段階にこれらの番組に出演していることはわかった。なので、今回の結果で得られた番組に、これから出演番組数がのびる芸人が出演する可能性は高いと考えられる。

本研究は、新しい研究であると考えられるので、その分様々な課題もある。その一つとして、本研究では、出演番組数を芸人の売れ具合の指標としたので番組の価値をすべて同じと捉えたが、実際は出演番組の視聴率や放送時間、放送時間帯などによって番組の価値は違うので、売れているという感覚に違いがでると考えられる。なので、それらの要素を取り入れた売れ具合の指標をもとに分析することでさらに正確な結果が得られるのではないかと考えられる。

（指導教員 田村肇）